

卒業生から後輩に伝えたいこと

(3) あなたが現在の学生にアドバイスをするとしたら、次のような大学時代の学習や経験をどの程度すすめますか。

総合科学部

- ・この質問の先に、大学としてどういったアクションを検討されていますか。
地方大学としての学生に付加価値のみつけ方の指導をお願いします。
- ・将来どうなりたいかによってやるべきことも優先順位は当然かわってきますが、大学時代に身につけられること、経験できることは、法に触れないものであれば全てやっておいて損はないと思います。社会に出てゼロから身につけて間に合うものもありますが、ゼロよりイチでスタートした方が、大人の自分はちょっと楽です。楽しめる範囲でやってみてください。
- ・サークルでも部活でもアルバイトでも授業でも良いので、他人と共同作業をする経験が重要だと思います。
- ・もっと本を読んでおけばよかった。広大な図書館はすごくいいと思う。
自分で勉強する姿勢でいることは、社会人になってからも大切。
- ・ボランティアは社会人だと時間の制約があったりするので学生のときに友人とできたらよかったと感じる。社会にでてボランティア経験のある人は貴重だと思う。
- ・特にない
- ・困ったときに助けてになってくれる友達がいることはとても大事だと思う。
- ・小さい頃から夢だったJリーグクラブで働くことができたのは、大学で経験した全てのことが役に立っていると思い感謝しています。
- ・なんでも良いから一生懸命すること。
- ・やりたい、興味があること、なんでも思いっきりやってみること。
- ・大学の夏休みに、バイトもサークルも友人との関わりも全て絶てみると、始めは起きる時間

などが遅くなったり堕落した生活になったが、一週間くらいで、「勉強しよう」と思い、自分は勉強が好きなのに気づいた。

- ・海外経験ははやい方が良い。休学してでも長期の留学をするべき。
バイトの時給はせいぜい700~900円程度で、20代前半の時期はそれ以上に価値がある。
- ・学生ほど時間があるときはもうないので、学生のうちに勉強、遊びを計画的にやってほしい。
時間がかかることなど何ができるか考えて充実した学生生活を送ってほしい。

文学部

- ・学友との連絡手段は確実に残しておくべき
- ・できるだけ友人と遊び、ともに苦い経験も共有することをオススメします
- ・学内はもちろんだが、学外、とくに他大学との交流を積極的に行った方がいいと思う。
- ・何か一つのことに注力するのもよいが、色々やってみて合う、合わないを判断してからでも良いと思います。
- ・就職してみて、改めて学生時代は自由に使える時間が多いことに気づきました。限度はありますが、興味のあることには、積極的に取り組んでみるのがいいと思います。
- ・しっかり遊んで、多くの人と交流を持つことが大切だと思います。
- ・実際に友人になるかならないかは置いて、他者とのコミュニケーション能力の向上のために努力を惜しまない方が良い。実務能力や頭の良さも重要だが、対人関係における能力が一番重要になってくる。
- ・留学生との交流を積極的に行うようになってから、また違った学生生活が味わえました。外国の方や文化との接し方が大事な時代だと思いますが、その練習の機会は意外とありません。大学にはたくさん留学生がいるので、できるだけ交流しておくといいと思います。
- ・大学は研究をするところであり、財務省文科省

卒業生から後輩に伝えたいこと

の何がしたいのかよく分からない政策に流されず、学問を楽しんでほしい。親、社会に守られた最後の自由な時間を満喫してほしい。

教育学部

- ・なんでも挑戦した方がいいと思う。
- ・様々なことに挑戦してほしいです。無駄なことは1つありません。
人生の夏休み・モラトリアムと言われますが、そうではなく実りあるものにしてほしいです。
- ・パソコンの技術は身に付けておいて損はないと思います。
- ・授業と友人を大切に!!
- ・今しか時間が十分に確保できません!
遊びも学びも全力で、何ごとも経験だと考えてみてほしいです!
- ・海外旅行は学生時代に行けるだけ行くべきです。
- ・いいと思ったことにはどんどん取りこんでほしいです。後、やってよかったと思えることもたくさんあります。
- ・楽しいことを見つけることが、モチベーションの第一歩だと思います。
E-camp や文化祭などはとても大切な行事だと感じています。
- ・友人との交遊と学習の両立が非常に大切
- ・いろいろな経験をされると良いと思います。
- ・時間があるのは学生時代。有効に活用することをすすめます。
- ・自分が気になったことに積極的に関わってみたら良いと思う。
都市や知らない地を訪れ、色々なことを実際に感じ触れるのもたのしい
- ・人に言われずに行動できること、他者との協調・協働できることを大切にしてほしい
- ・一生関わっていけるような友人をつくって下さい。
- ・空き時間＝バイトではなく興味のあることなどにもっと時間をついやせばよかった
- ・長期の旅行や海外に行くなど、時間が必要なこ

とを大学のうちにしてほしい。

- ・広大生は基礎学力、応用力はそこそこあると思うので、課題や単位修得のために周囲の友人たちとも協力しながら、力を育てる事ができると思う。レポートなどをもっと課されていてもよかったかもしれない後になって感じている。
- ・人前で発表する能力（プレゼン力）を大学の時に鍛えられていたら、社会人になって役立っていたと思う。交友関係を広げることは大学時代にしかできなかつたりするので、人とのつながりも大事に大学生活を送ることが、大学時代を充実させることだけでなく社会人になっても貴重なものとなると思っている。
- ・学生時代には教育系の勉強が主だったが、社会に出てみると状況は変わる。学生時代の専攻と全く異なる仕事に就いてみて、幅広いスキルを得ておくことの重要性を感じている。特に中四国（地元）で広島大学ブランドは一定の強みになるので、それに伴う自分の中身の充実度をしっかり上げられる様々な経験ができるようにしておくのがよいと思う。
- ・全ての経験が自分の役に立つと思うので、いろんなことをしてください。
- ・自分がしたいと思ったことをとことんやればよいと思います。
逆に何もせずボーっとすごす、といったことも社会人になると難しいのでそれすら貴重です。ただ、二度とあのような4年間はないので、悔いなく過ごして下さい。
- ・仕事は卒業後にいやでもできるので（しなければならないので）、今しかできない勉強や読書に多くの時間をついやすべきだと思います。
- ・卒業後就職してから院に進学します!
- ・一生つき合っていけるような友人関係を作ること。
- ・友達とたくさん思い出を作ってほしい。可能ならいろいろなところへ旅行へ行くべき！（働きだすとゆっくり旅行に行けない…）

卒業生から後輩に伝えたいこと

- ・色々な場所に行ったり、多くの人と関わったことが、仕事で生きています。
そのような経験がとても大事です。ただ、もう一度学生に戻れるなら、もっともっと授業を受けたいので、授業を大切にすべきです。
- ・なるべく色々な経験をしておいた方がよい。
- ・いわゆる「もはんだな学生」という概念にとらわれすぎず、興味のあることに素直に行動してほしいです。
- ・自分のやりたいことを探して下さい。色々な人生があることをして下さい。
- ・大学生のときにしか得られないことがたくさんあります。先生や友人には卒業後もとても助けられています。好きなことに思いっきりうちこむことや学ぶこと、研究することは、人生の宝物にきつとなります。
- ・大学は時間に余裕がある時に、たくさんの経験をしておくべき。
友だちをたくさん作って、就職してからもつながっておくと、いろいろと刺激になります。
- ・大学生活は最も自身で時間を有意義かつ有効に使える時期だと思います。「学び」、「サークル活動」、「遊び」、「バイト」などなどやりたいとおもったことには、迷わずどんどん全力投球してください。やろうと思ったらどんどんできる、それが大学生活です。大学生活で得たことは一生の宝となり、思いがけない所で無限のパワーを発揮すると思います。
- ・色々なことを精一杯取り組んだほうが絶対充実した生活になるし、将来役に立つ。
ただ、やりくりは大変だし、どこまでできるか、周囲に迷惑をかけることも分かったうえで、取り組むべきだと思う。
- ・海外留学やインターンシップなどに参加できることを知らなかったし、自分で情報を得ようとしませんでした。そのことを非常に後悔しています。
私には無理だとあきらめずに、もっと視野を広

- げて積極的に行動や挑戦をすれば良かったです。
- ・自由な時間が多いと思うので、自分のやりたいこと思ったこと、チャレンジしたいことに積極的に取り組んでほしい。(勉強でも遊びでもバイトでもサークルでも)
働き出したら、学生の頃ほど時間がないので!!
- ・学生のころにたくさんいろんな経験をしておくと、いろんな視点から物事がみえるようになったり、視野が広がるので楽でたのしいばかりの道をえらばずに、勉強に遊びに充実した学生生活をおくってほしい。(と、過去の自分にも言いたい)

法学部

- ・社会人になったら、なかなか時間がとれず、やりたいことができないことがある。
大学生のうちに、サークル活動やボランティア等、貴重な経験をたくさんしておくことをおすすめする。
また、大学で学んだことは、絶対に社会に出て役に立つので、どうか毎日の授業をめんどくさがらずにがんばってほしい。
※学校側へ：私は学部時代夜間生だったため、インターンシップやボランティア等の情報があまり入ってこず、結局そのような活動をせずに卒業しました。
どうか、夜間の学生に対し、今後、より充実した情報提供、支援をお願いします。
- ・入学初期から、将来の進路について考え、必要な学習(留学やインターン等)を早めに着手した方がよいと思います。就活が始まってからでは遅いです。
- ・PC操作ができない新卒の方が多い、自分で勉強すればいいとは思いますが、大学自体もそういう講習をすればいいと感じる。
- ・パソコン(特にEXCEL)を勉強しておくことで効率が格段に上がるので学んでおくほうがいいです。

卒業生から後輩に伝えたいこと

- ・年をとるとチャレンジができなくなるというわけではないですが、自分の自由になる時間がたくさんあるのは大学生のうちだけだと思うので、興味関心があることにはどんどん取り組むと良いと思います。
- ・パソコンスキルはどの職についても必要です。ゆっくり時間がとれる今のうちに、自分の人生（キャリア）について考え知識・技術を得てください。
- ・実務的な学習に力を入れた方が良いでしょう。
- ・東広島に住んでいる学生にとって、大学は生活の基盤というべき存在ではある。しかし、学びの場は学外の方が広い。地域や、別の大学で学ぶ同志を見つけることも大切だ。
- ・たくさんの人と触れ合う、自分に合った勉強のやり方を知る等、やっておいたら良いことは多々ありますが、後悔のない学生生活を送ることが1番だと思います。

経済学部

- ・興味があるものがあれば何でもいいのでそれに組みあわせたいと思います。
文章・プレゼン・パソコンなどのスキルは入社してから学ぶこともできるので、それ以外の大学生のうちにはしかできない事を後悔のないよう楽しんで欲しいと思います。
- ・人生の夏休みとは上手く言ったもので、やりたい事はお金と時間をおしみなくかけてたっぷり没頭してください。
- ・大学で得たものといえば、友人が一番ですが、今思えば色々な授業を自分で選んで受けられる環境もとても貴重なものだったと思います。社会人になると勉強の時間もあまりとれないので、今の学びの時間を大切にしてください。
- ・自分の好きなものを見つけるために、あらゆるものにチャレンジすべき。
その中で自己分析も深め、進路につなげてほしい。
- ・多くの経験を作りたい

- ・サラリーマンになりたいのであれば長期のインターンシップをすすめる。しかし全部やろうとしても無理ではないと思いますし、やれば良いと思う。他大学との差別化としては①起業ができる人材②外国企業に入社する人材③西条（広島市）で働く人材（中心となる人材）を育てる大学であってほしいと思う。サラリーマン以外の人材を育ててみませんか？
- ・大学内だけでなく、他大学の学生や社会人と交流をし、視野を広くもってください。
- ・就職先に関わらず汎用的に活かせるパソコン等のスキル習得、金かせぎができる金融などの知識を見つけておくといよい。
- ・将来どのような職業に就くか考えるうえで、職業経験できるアルバイトが役立ちました。
ただお金を稼ぐというわけではなく、自分にはどんな働き方が向いているか考えるきっかけになります。社会人になれば色々な職場を経験することができないので、学生のうちにしっかり考えてほしいと思います。
- ・とにかく時間を大切にしてください。
- ・学業以外で何か一生懸命打ち込むことができる事を見つけることが大切だと思います。
- ・学問や趣味を問わず関心を持ったことは学生の時に時間をかけて取り組んで下さい。
- ・語学や公的な資格を持っていると就職中に自分の能力の証明にもなるので、習得して損はないと感じました。
- ・今はそう思わないかもしれませんが、これからの人生において、一番に自分を磨くチャンスや時間の多い時です。おおいに楽しんでください。

理学部

- ・「将来役に立つ、立たないを考える」ほど、おろかなことはない。やっておけばよかったと気づける方が少ない。大抵はもしやっていたら、役に立っていた場面になっても、そのことに気づかない。
無駄なことはひとつもない。ただし、やりたい

卒業生から後輩に伝えたいこと

ことを優先しなさい。

- ・就職後に文章、資料を作成する機会が多くあるので、日本語を書く能力を伸ばす機会があるといいと思います。
- ・色々な人との交流を持ってほしい
- ・化学出身だが今は機械の知識も求められる仕事をしている。
専門も大事だが、それを取りまく領域も、サワリくらいは理解しておくといいと思う。
- ・他大学との交流（夏の学校などへの参加）
- ・様々な人と交わることで多くの経験ができると思います。
- ・プレゼン技術は仕事をする上で必須だと思います。
企業でもディープラーニングの導入が検討され始めていますので、それらを扱うコンピュータ技術が必要になってくると思います。
- ・大学卒業後、どの分野に進んでも、必ず問われるのは、問題解決能力（目指すべき所と現状をどのようにうめるか）とプレゼン、文章作成能力。このキソを大学の1年時に身につけることで大学生も、卒業後も大いに能力が伸びると思います。
- ・どんなことも手を抜かず、余裕があるならあえて難しいことの挑戦すべきと思う。
失敗しても多くのことは「学生だから」で片付く。忙しくても確実に社会人よりは時間に縛られないので、時間をかけて何かに取り組んだら良い。
- ・無駄なことはひとつもないのでぜひチャレンジしてほしい。
必ず力になります。
- ・興味があったことや得意なことに積極的に取り組むことをおすすめします。面接時にその話題の時、自信が持て、その後良い流れになることが多かったです。
- ・人脈の形成が重要だと感じる。
インターンシップは会社に入ってから不毛なも

のだと感じている。

- ・多くの経験をすることは重要である。
勉強、遊びなどやるからには全力で取り組むことが今後の人生を豊かにすると思う。

医学部

- ・自由な時間がある大学生活を有意義に使って下さい。
- ・大学でできた友人のつながりが、仕事をする上でも生きています。
- ・卒後に活かせるように交友関係は広めておくとも助かります。

歯学部

- ・将来どのような仕事に就くかどうか学生時代から真剣に考え今学んでいる事がどのように将来つながるか考えながら学生生活を送っていったらいいと思う。また、中途半端でなく何事もしっかり頑張っ欲しいです。

薬学部

- ・社会では英語が求められるケースも増加しておりますので、その学科を大学時代に積むことはとても重要かと思えます。また、プレゼンテーションやパソコン知識の習得も社会に出ていく上で求められることが増加するかと思えますので、今の内から取り組むことをおすすめします。
- ・学生には幅広く活動し、多様な経験を積んで頂きたいです。

工学部

- ・学べる時間により深く、多くの分野について学ぶ事が重要
- ・社会人になるとプレゼンする機会がふえるので、プレゼン能力を向上させておくと思えます。
- ・就職して一番必要なのはコミュニケーション能力、次に専門知識
大げさに言っても人との関わりが上手く出来ない人はどこに行っても大変だと思う
- ・専門性を極めるだけでなく、幅広い知識が社会

卒業生から後輩に伝えたいこと

では大切。

一流の人から話を聞くことが一番効率的。

- 最低限の教養と専門知識に加えて、人づきあいと、実の体験を多くするのがよいと思います。
- 社会人になると、語学やパソコン技術や、あまり親しくない人や初対面の人と雑談するときの知識などやっておけばよかったと思うことがたくさんあるので、4年間にやりたいことをつめこんで、体力のあるかぎり楽しんだほうが良いと思います。
- 学内学外問わず様々な年代の人とコミュニケーションをとる機会を持つと良いと思います。また、アルバイト等で「働く」ということを経験しておいた方が良いと思います。
- 多角的な力をつけ、人の輪を広げることが大切だと思います。
- 資格の習得をすすめる。学生の時間のあるうちに興味ある分野の資格をとることをすすめる。どんな資格も、無駄にならないと思う。直接それを使用する職に就くことは珍しいかもしれないが、やらないよりはやってみるといいと思う。そうすることで使うイメージが沸くと思う。
- 一に勉強
- 興味があるものには手を出してみる
- 苦痛なく熱中できることを見つけること。強みをもつこと。
- やらないよりやってみるのが良いと思う
- どれも学生のうちしか経験できない項目。学生のうちにもっと様々なことに興味を持って取り組んでいたらなー、と今後悔しているところもあるので、今の学生にはいろんなことにチャレンジして、視野を広げてもらいたい。
- よく学び、よく遊ぶことが大切だと思います。
- いろんなことができたなら、それでいいと思います。

職に就くことはゴールではないです。

税金の話は必ずしてあげてください。学生の間は関心が薄いので。

学生の内は学生なりの遊びを、社会人になってからは社会人なりの楽しみを持てると思います。

- 本人は現在海外に1月から1年間仕事で行っているのですが、勝手に親が記入しました。あまり参考にならないと思います。すみません。
- 勉強だけではなく、色々なことを幅広く学び、挑戦して視野を広げてほしいと思う。
- よく学びよく遊べ
- 今できることを考え、しっかりやることやって遊んでください。社会人になって勉強は大変です。

生物生産学部

- 学部生時代にしかできないことを、時間のある限り思いきり楽しんでほしい。
- 現在の仕事は人前で話す機会が多いので、プレゼンテーション能力は身につけるべきだと思います。
- 大学生活は人生の中で一番自由で、自分のやり方次第で充実したものにすることができる。学生の方にはそう考えて日々を過ごしていただきたい。
- 年上の人（会社の上司）と会話できるように学生時代からコミュニケーション能力を養った方が良い。
- 勉強してテストの点数を上げるだけではないと思う。人脈を駆使してレポート、過去問を集めてテストを突破するのも良いやり方だと思う。こういうスキルは社会に出て役立つ。友人は特定のコミュニティに限らずに他学部の人と交流して下さい。
- 自発的に様々なことに挑戦して下さい。
- どれに対しても興味を持って熱心にとりくむことが一番だと思います。
- 授業に関しても、それ以外の活動に関しても、役に立った立たなかったというよりは、自分が後々役立つように学習に向き合ったか向き合っていないか、という部分が大きいと思います。すべてに真面目に向き合うのではなく、役立つ

卒業生から後輩に伝えたいこと

ものと役立つものを見極めが大事

- ・インターンシップは参加すると良いと思う。(私は大3の時に世羅の梨農家でインターンしました。)

パワーポイントやPCの使い方は多く学べたので、社会人になってからも大いに役立ちました。

- ・自分の興味のあることを好きなだけ勉強したらいいと思います。

必要な環境は大学内にかなり揃っていました。

- ・英語は企業から求められる場面が多いので、もっと英会話をしておくべきだと思った。

もし、英語を話す機会があったら参加しておくのも良いと思う。